

# きょうから水俣で住民検診

## 熊大 研究班 出るか"隠れ水俣病"

熊大第二次水俣病研究班(代表・武内忠男第二病理学教授)の水俣市での住民検診が、二日から始まる。八月には天草郡御所浦町で行なわれたが、今回の調査は水俣病が多発した水俣市での調査だけに、隠れ水俣病患者がいるかどうか―など注目される検診になる。

調査研究班は熊大医学部公衆衛生学教室松下敏夫助教ら二十人で、対象地区は最も水俣病患者が多

く出た月浦、出月、湯堂地区三百六世帯千八百八十九人。これは地区内全住民。

すでに先月二十五日から各戸に健康状態調査票(乳児用、幼児用、成人用の三種)が配布されており、二日は午前八時から月浦、出月、湯堂の各公民館で回収する。

三日から二百間が調査票の結果によって研究班が判断して、寝たきりの人たちなどのための家庭訪問をする。検診は七日から十二日まで。

初日の七日は月浦選挙場、同公民館、前島昭光さん宅(月浦)の順で、未就学児とその付き添い者を検診し、以降全住民をみて十一、十二日の小、中、高生を最後に終わる。

調査票の聞き取り調査をする。

初日の七日は月浦選挙場、同公民館、前島昭光さん宅(月浦)の順で、未就学児とその付き添い者を検診し、以降全住民をみて十一、十二日の小、中、高生を最後に終わる。

調査票の聞き取り調査をする。

初日の七日は月浦選挙場、同公民館、前島昭光さん宅(月浦)の順で、未就学児とその付き添い者を検診し、以降全住民をみて十一、十二日の小、中、高生を最後に終わる。